

日本健康心理学会メールマガジン No.39



2015年10月22日 第39号

Contents

- 1) 学会からのお知らせ
- 2) 健康心理学コラムvol.34 東海大学 吉川政夫先生

1) 学会からのお知らせ <http://jahp.wdc-jp.com/>

■学会認定健康心理士の将来について(学会事務局より)

10月12日、公認心理師法案の国会通過に伴い、学会認定の健康心理士の将来を考える話し合いを、常任理事はもちろん、一括申請校の代表の方を交えて話し合いました。

今後、継続して検討していきます。

(添付の写真：健康心理士の将来を考える話し合いのメンバー)

■2015年度における研究部会について(研究推進委員会より)

2015年度の助成対象となる研究部会が決定しました。

継続：子どもと大人の発達支援研究部会、「国民の身体活動増進を考える」研究部会

：不登校児童生徒に対する感覚的アプローチを用いた支援

研究部会

新規：学校発達保健研究部会

詳しくは <http://jahp-research.blogspot.jp/>

■2015年度の健康心理士試験について

2015年度の健康心理士試験要項・願書が新たに掲載されました。

詳しくは <http://jahp.wdc-jp.com/shinsei.html>

■日本健康心理学会第29回大会(岡山)に向けて～岡山の魅力／和気・閑谷学校～(第29回大会準備委員会より)

2016年度の年次大会は岡山大学で開催されます。そこで、数回に分けて、岡山の魅力を紹介します。

みなさまは閑谷学校をご存知ですか。1670年、旧岡山藩直営でつくられた庶民教育のための学校です。

当時、武士の子弟が学ぶ学校は存在していましたが、現存する庶民を対象とした学校建築物としては世界最古のものとされています。

JR山陽本線吉永駅からタクシーで10分。機会があれば是非、訪問してみたいかたがたでしょう。

第29回大会URL：<http://jahp.wdc-jp.com/conf/29th/>

特別史跡 旧閑谷学校：<http://shizutani.jp/index.html>

2) 健康心理学コラムvol.34

「健康状態、生き方、人生をオノマトペ(擬音語・擬態語)で表現すると？」

(東海大学体育学部生涯スポーツ学科 吉川政夫先生)

オノマトペとは、擬音語・擬態語を意味するフランス語です。

擬音語・擬態語は五感による感覚印象を言葉で表現する言語活動です。

筆者らは運動・スポーツ領域で活用されている擬音語・擬態語をスポーツオノマトペと名付け研究しています。

運動・スポーツ領域でオノマトペが使用される場合、運動の「コツ」を表現する際の言葉として使用されることが多い。具体的には、動きのパワー(例:グツ)、スピード(サツ)、持続性(ポーン)、タイミング(ピタッ)、リズム(トン・ト・トン)を表現する言葉として使われています。

さて、あなたのいつもの歩き(動き)をスポーツオノマトペで表現すると？『〇〇〇〇歩く』

＜歩きを表現するオノマトペの例＞

サッサッ・スイスイ・スタスタ (身軽、軽快ですね！)

グイグイ・ドンドン・ノッシノッシ (力強いですね！)

ヨチヨチ・チョコチョコ (カワイイですね！)

シズシズ (お姫様ですか？)

ブラブラ (ゆとりがありますね。それとも閑(ひま)ですか？)

テクテク・ノロノロ・ヨタヨタ・ヨロヨロ (大丈夫ですか？)

ゾロゾロ (ついて行くのですね。)

以上の歩きを表現するスポーツオノマトペの特徴は、すべて反復のオノマトペ、すなわち2音韻が繰り返される擬音語・擬態語です。反復のオノマトペは、動作の繰り返し、動作の強調、動作のリズムを表現することばとして使われます。

健康心理学の研究として、痛み、感情、健康の状態、生き方などをどのようなオノマトペを使って表現するかを分析検討することにより、健康づくりに役立つオノマトペ研究ができると思います。

さて、あなたの生き方をスポーツオノマトペで表現すると？『〇〇〇〇人生』

日本健康心理学会広報委員会

<http://jahp-public.blogspot.jp/>

メールマガジンの配信停止、アドレス変更については下記アドレスまで。日本健康心理学会事務局 <jahp-post@bunken.co.jp>

メールマガジンへのご意見・ご感想については下記アドレスまで。広報委員会 <jahp-ML@bunken.co.jp>

過去のメールマガジンは、こちらからご覧いただけます

<http://jahp.wdc-jp.com/health/health1.html>

